第19回 株式会社エフエム真岡 放送番組審議会議事録

1 開催概要

審議委員及び事務局が年度末対応の為、書類による審議を実施。令和7年3月24日に審議資料を配布、令和7年4月8日までに番組に対する意見等について返信を求めた結果、審議委員全5名から電子メールまたはFAXにて回答があった。

■出席委員(敬称略)

加藤 敦 美 (真岡商工会議所 専務理事)
市村 有 史 (真岡市 総合政策部 秘書広報課 係長)
篠崎 勝 美 (株式会社シノザキ楽器 代表取締役)
宇賀神 久 子 (株式会社アキヤマ観光 取締役)
上 澤 宏 行 (鶴見建設株式会社 代表取締役)

2 議題

放送番組の審議

3 審議内容

① 審議番組『いつでも♪どこでも♪もおかの874 (ハナシ)』

放送日時：令和7年3月20日(木) 12:00~12:45

「真岡みらい日本語学校の先生と学生の皆さん」5名出演

・FMもおか/パーソナリティ：佐野 久恵

(委員) 音声配信のラジオにおいて、日本語能力が充分でない日本語学校の学生である外国籍の方にご出演いただくのは、チャレンジングだったと思います。普段からゲストとしてラジオに慣れていない市民の方が多く出演されているとはいえ、リスナーとしては、ゲストの話し方が安定していると他人事ながら安心して聞いていられますし、緊張などから聞きづらさがあればハラハラして聞いてしまうものです。もちろん学生の皆さんの日本語能力は瞬時に伝わりましたが、聞きづらい部分はパーソナリティが上手にサポートしており、ハラハラするというよりも「ガンバレ」という気持ちになりました。3名にバランスよく話しを振って学生の皆さんのトークの時間もたくさんあったため、3名のまじめさや礼儀正しさも伝わっていると思います。引き続き行政からの情報だけでなく、市民に身近な地域情報を発信することにより、FMもおかの市民への浸透を図っていただきたいと思います。

(委員) 好感が持てたポイントとしては、中村の廃校が廃校利用として真岡未来日本語学校となっていることに驚きました。これからは担い手不足の対策として必要となる情報ですので、コミュニティFMで発信することはとてもいいことだと思います。日本語を勉強する他国の方々が直接会話することは本人たちにも良い経験になりますし、情報も国によって全然違うので面白いと思いました。真岡は人がいなくて静かな町との印象、外国の方々にとっては、落ち着いて暮らせる地域なのかもしれませんね。要望といたしまして、佐野パーソナリティの話し方がハキハキしていて聞きやすいのですが、学生の声の大きさが「ブレる」ので、聞きにくい印象がありました。その中で、パーソナリティとのキャッチボールは好感が持てた部分でもありました。

(委員) 今回のコミュニティFMの番組で初めて廃校舎を利用して日本語学校ができていること

を知りました。そういう意味でもコミュニティFMの情報発信は重要なんだなと改めて感じました。アジアからの留学生ということで、日本語を十分に理解できるのかなと思いましたが、皆さん短期間で日本語を習得し、コミュニケーションが取れていましたので感心しました。パーソナリティの佐野さんの番組回しも上手でしたので、安心して聞いていられました。ひとつきになりましたのは、やはり人数が多いと音声のバランスがあまり良くない感じを受けました。進行中に多少のバランスは修正されていましたが、番組が始まる前に「大きな声で」みたいな注意事項を伝えてもいいのかなと思いました。(もちろん、軽い打合せはしていると思いますが)

(委員) 統廃合された校舎を有効活用していることが理解できたことは良かったなと思いました。また、真岡はなかなか新規事業として開業する会社が多いとは思えないので、このような外国人学校でも開設されれば、地域の活性化に繋がるのではないかなと思いました。コミュニティFMの役割としなくても、市内の情報発信や活性化があると思いますが、こういうことを取り上げてもらえると、コミュニティFMの存在感が増すと思いますので、良い番組だと思います。また、ここで学んだ学生ができれば地域に残っていただき、外部の、しかも外国の方の定住に繋がれば、真岡も賑やかになるのかなと感じました。佐野さんのゲストの扱いも上手でしたので、一部音声聞きにくかったところもありましたが、素晴らしい番組だったと思います。今後もこのような地域情報を伝えて頂ければと思います。

(委員) 良かった点として、真岡に所謂、日本語学校があるということを理解できたことです。また、廃校舎を利用した教育事業だと思いますので、その点も有効活用ということで良かったと思います。出演していただいた、外国人の方の真岡へのイメージが、分かったので、必ずしも東京に行きたいということではないんだなと、認識を新たにできました。大都市でなくても、PRの仕方によっては多くの人の気持ちを惹きつけられるのではないかなと感じました。もっと、こういう学校を周知してもらい、地域社会との関係性を作りながら新しい風を真岡に吹かせていただければいいなと思いました。改善点として、いつも感じるのですが、大人数で話している時に、どうしても声が大きかったり、特に小さかったりすることが多いので、放送している側も気にしているとは思いますが、違和感のない程度の安定感を出していただければと感じました。

② 放送番組審議会の次回開催について

(事務局) 次回の審議会は、令和7年7月8日(火)、13:30~

場所は、エフエム真岡会議室か市役所の会議室をお借りして開催予定。

(委員) 審議委員全員にe-mailにて連絡済。

4 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- ① FMもおかの放送内で告知(令和7年4月11日)
- ② 当該事項を記載した書面を事務所へ据置
- ③ 自社ホームページに掲載(<https://www.fm-moka874.co.jp/>)